



2026年7月28日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
14,094万kW
13時30分、140,936 MW
(10エリア同時刻合計)

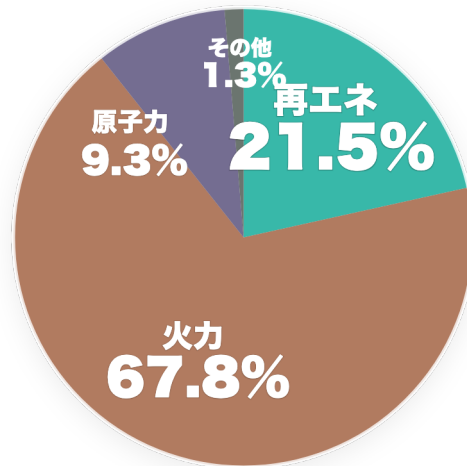
☀ 太陽光ピーク
3,864万kW
11時30分、38,635 MW
(自家消費分除く)

≈ 風力ピーク
129万kW
23時30分、1,286 MW

◇ 再エネ最大需要比
36.3%
11時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
123 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
103 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 41.3%
34.0 GWh

出力抑制量

0.0 GWh
最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

29.8 GWh
発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差
多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、14:00に4,187万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで41.3%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	21.5%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	588 GWh	太陽光・水力・風力・バ イオマス・地熱
総発電電力 量	2,735 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	36.3%	11時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	29.8 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	41.3%	34.0	0.0	送電 5.8
東北	29.2%	93.5	0.0	送電 103
東京	13.4%	93.8	0.0	受電 123
中部	23.4%	87.1	0.0	受電 44.5
北陸	26.9%	23.7	0.0	送電 9.2
関西	14.6%	66.5	0.0	受電 38.9
中国	27.7%	55.0	0.0	受電 4.5
四国	25.0%	32.2	0.0	送電 35.8
九州	27.9%	99.1	0.0	送電 35.9
沖縄	10.4%	3.5	0.0	—



2026年7月28日の供給実績

北海道エリア

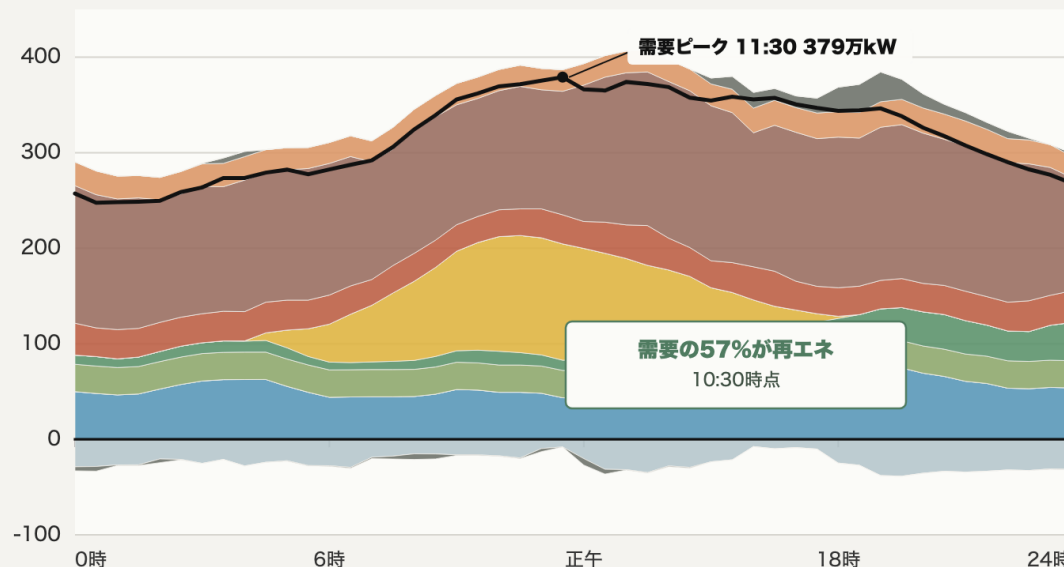
再エネ

34.0GWh

(発電電力量ベース41.3%)

北海道エリア 2026年7月28日の供給実績（残余需要方式）

万kW



発電構成比

総発電電力量: 82.4GWh
(824万kWh)

再エネ	34.0GWh (41.3%)
太陽光	9.7GWh (11.8%)
水力	13.2GWh (16.0%)
風力	4.3GWh (5.2%)
バイオマス	6.8GWh (8.3%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	7.4GWh (8.9%)
石炭火力	34.0GWh (41.3%)
石油等火力	5.7GWh (7.0%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	1.2GWh (1.5%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

82.4GWh

需要ピーク

11:30、379万kW

連系線・その他

5.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク123万kW、風力ピーク40万kWで、時間別の再エネ最大需要比は57.4%だった。



2026年7月28日の供給実績

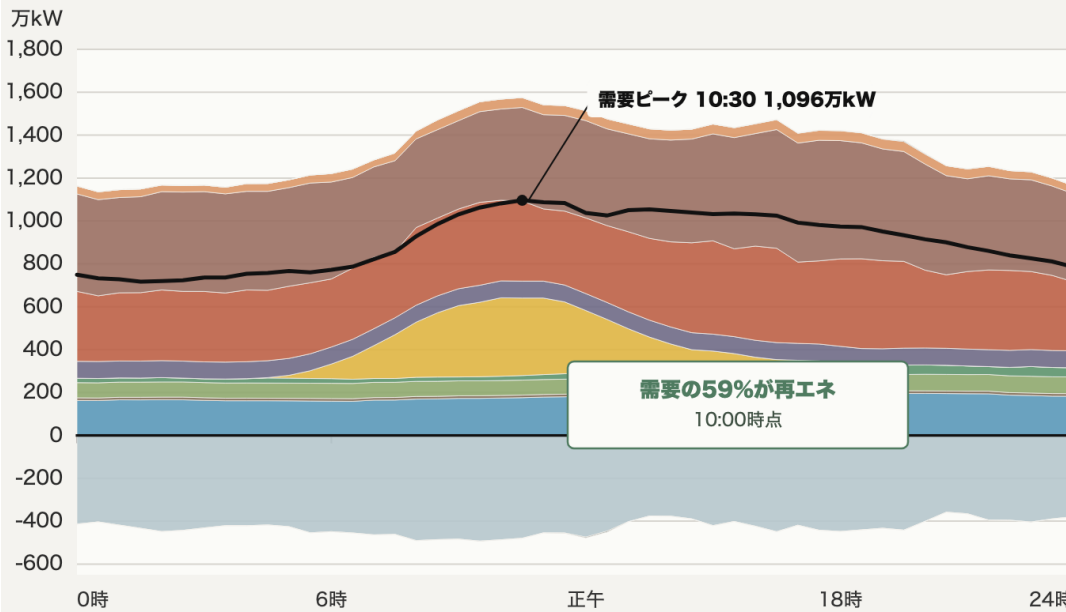
東北エリア

再エネ

93.5GWh

(発電電力量ベース29.2%)

東北エリア 2026年7月28日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 321GWh
(3,205万kWh)

再エネ	93.5GWh (29.2%)
太陽光	23.4GWh (7.3%)
水力	43.1GWh (13.4%)
風力	6.9GWh (2.2%)
バイオマス	17.3GWh (5.4%)
地熱	2.9GWh (0.9%)
LNG火力	86.8GWh (27.1%)
石炭火力	111.2GWh (34.7%)
石油等火力	9.9GWh (3.1%)
原子力	19.0GWh (5.9%)
揚水・蓄電	0.1GWh (0.0%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

320.5GWh

需要ピーク

10:30、1,096万kW

連系線・その他

103.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク366万kW、風力ピーク45万kWで、時間別の再エネ最大需要比は59.3%だった。



2026年7月28日の供給実績

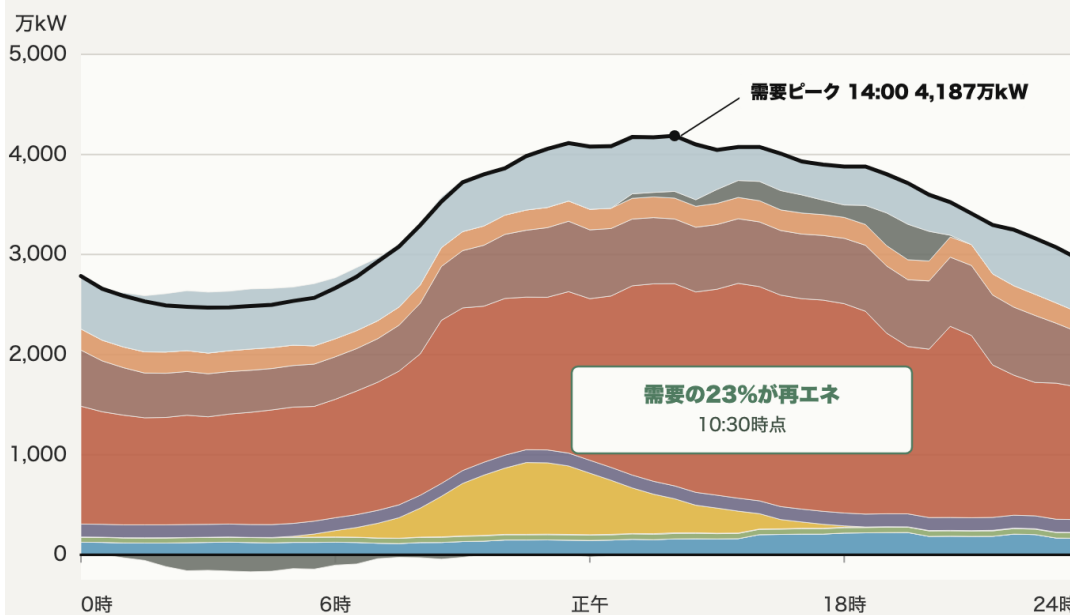
東京エリア

再エネ

93.8GWh

(発電電力量ベース13.4%)

東京エリア 2026年7月28日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 699GWh
(6,988万kW)

再エネ	93.8GWh (13.4%)
太陽光	43.0GWh (6.1%)
水力	37.3GWh (5.3%)
風力	0.9GWh (0.1%)
バイオマス	12.5GWh (1.8%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	373.5GWh (53.4%)
石炭火力	139.2GWh (19.9%)
石油等火力	48.6GWh (7.0%)
原子力	31.0GWh (4.4%)
揚水・蓄電	12.8GWh (1.8%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

698.8GWh

需要ピーク

14:00、4,187kW

連系線・その他

123.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電

8.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク717万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は23.1%だった。



2026年7月28日の供給実績

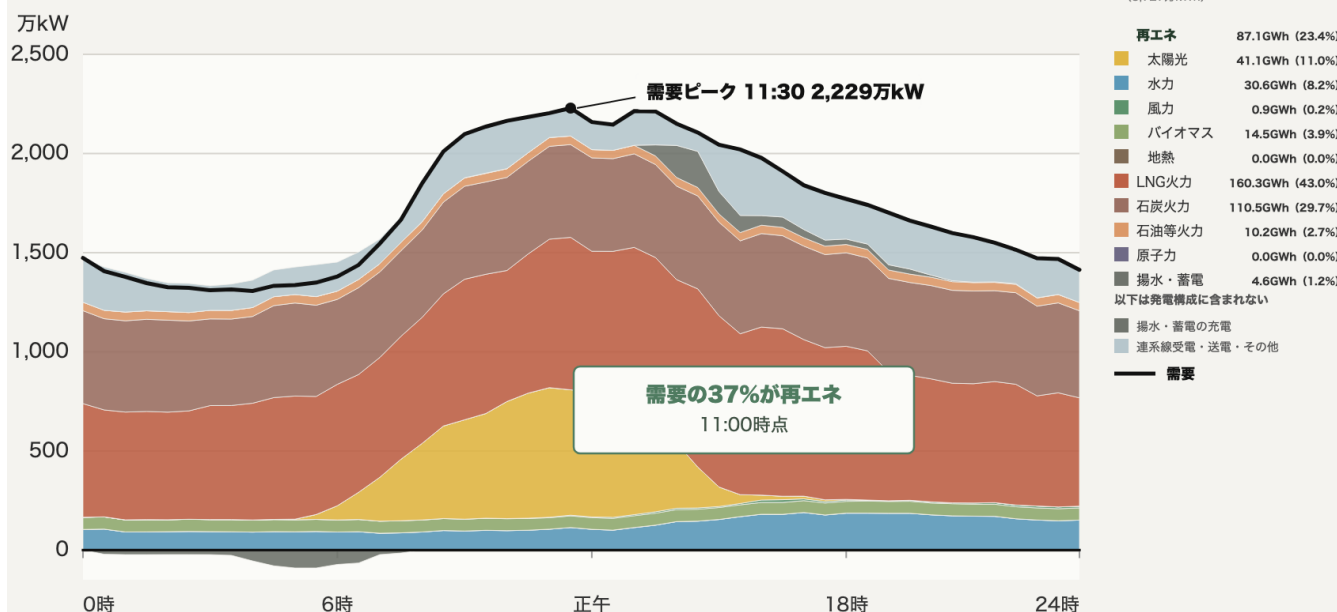
中部エリア

再エネ

87.1GWh

(発電電力量ベース23.4%)

中部エリア 2026年7月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

372.7GWh

需要ピーク

11:30、2,229万kW

連系線・その他

44.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電

3.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク653万kW、風力ピーク14万kWで、時間別の再エネ最大需要比は37.2%だった。



2026年7月28日の供給実績

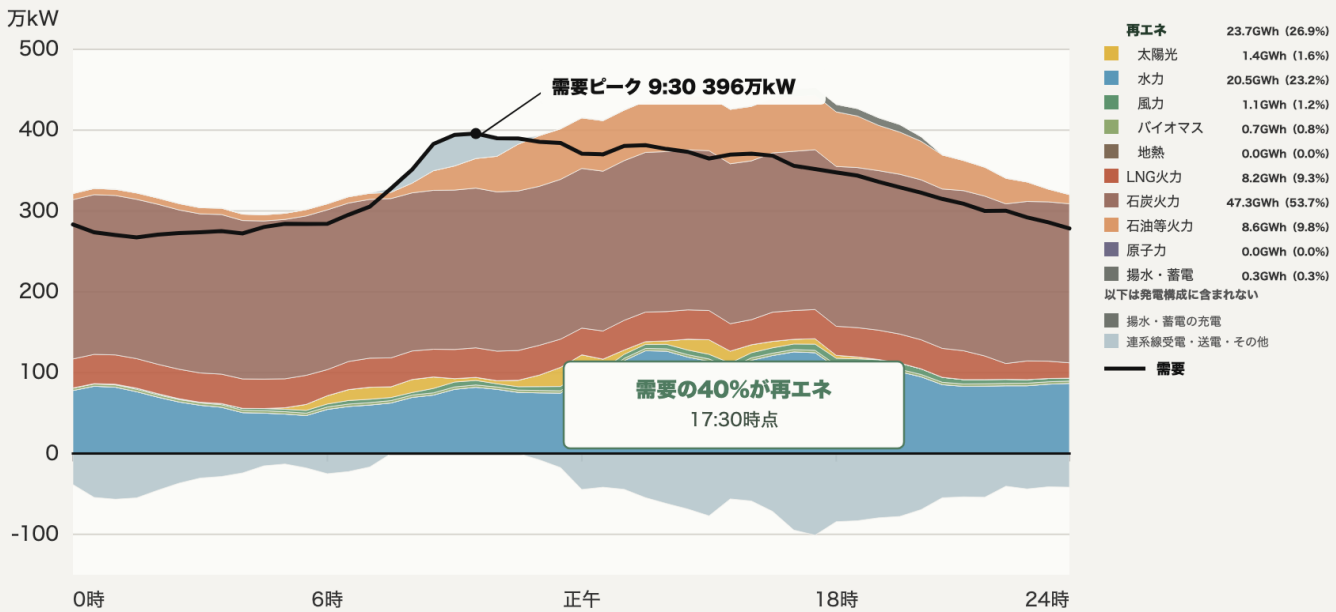
北陸エリア

再エネ

23.7GWh

(発電電力量ベース26.9%)

北陸エリア 2026年7月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

88.2GWh

需要ピーク

9:30、396万kW

連系線・その他

10.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク24万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は40.4%だった。



2026年7月28日の供給実績

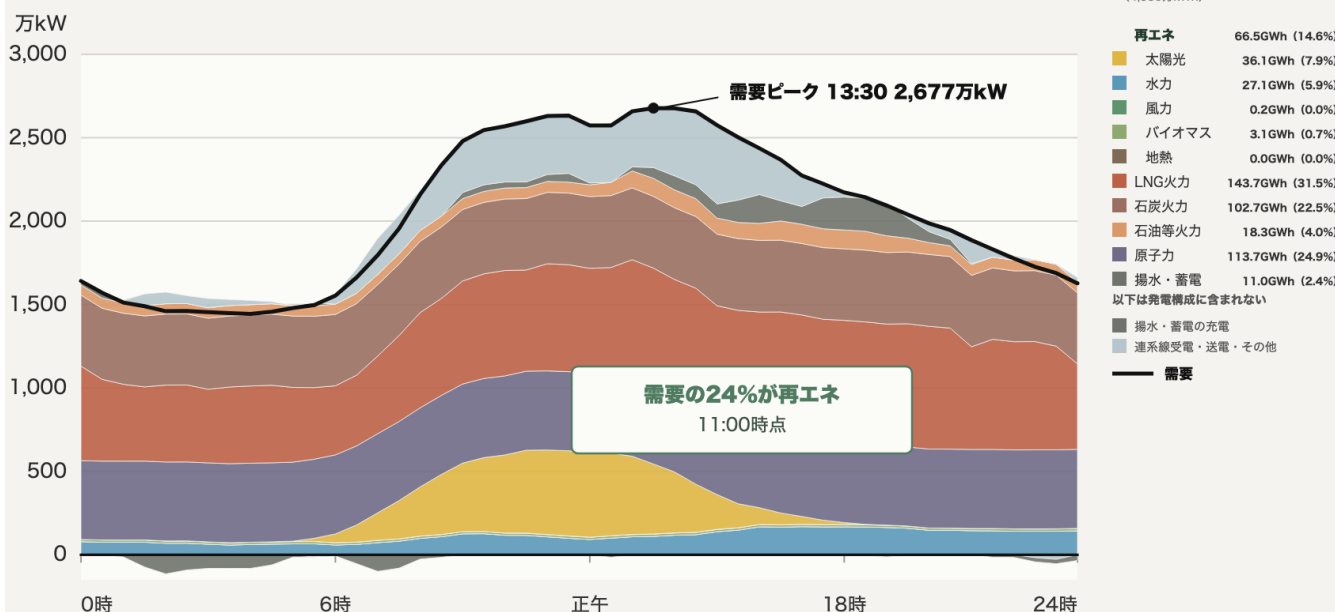
関西エリア

再エネ

66.5GWh

(発電電力量ベース14.6%)

関西エリア 2026年7月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

455.9GWh

需要ピーク

13:30、2,677万kW

連系線・その他

39.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電

5.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク510万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は24.1%だった。



2026年7月28日の供給実績

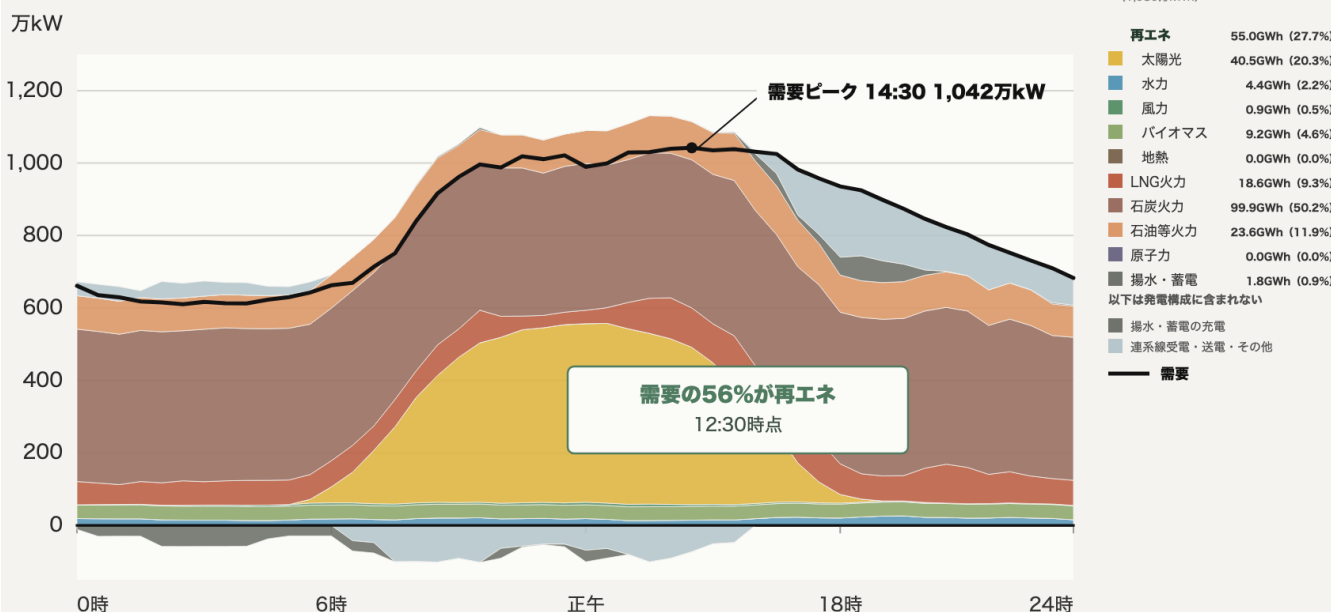
中国エリア

再エネ

55.0GWh

(発電電力量ベース27.7%)

中国エリア 2026年7月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

198.9GWh

需要ピーク

14:30、1,042万kW

連系線・その他

11.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電

3.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク496万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は56.3%だった。



2026年7月28日の供給実績

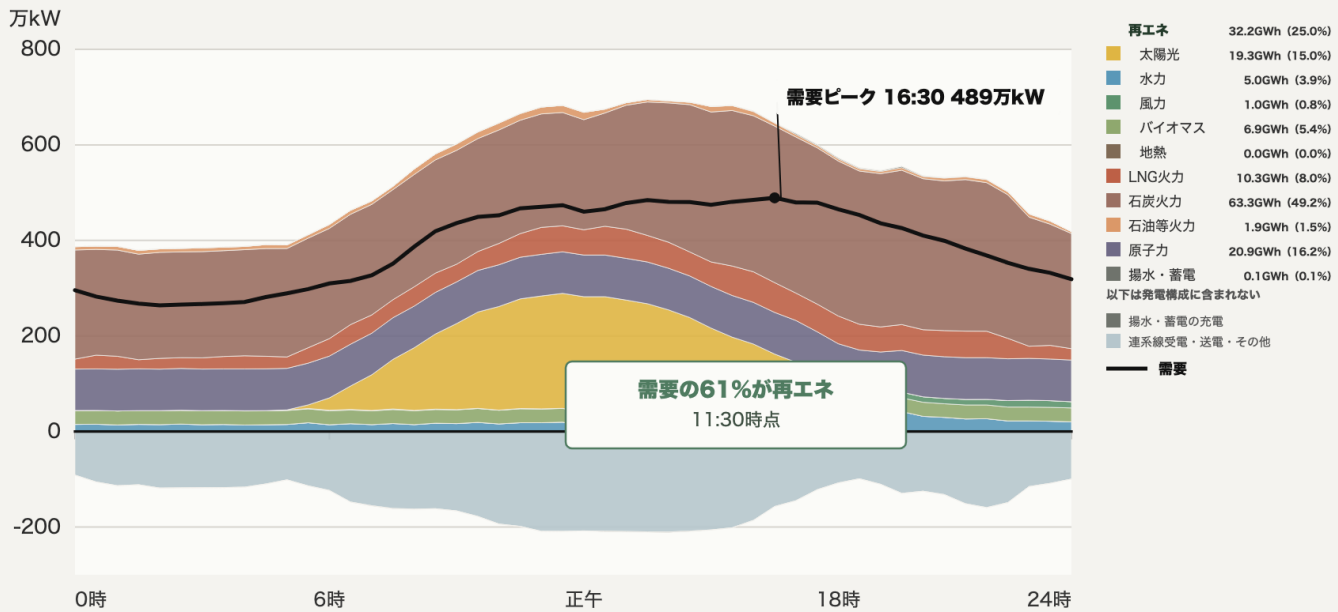
四国エリア

再エネ

32.2GWh

(発電電力量ベース25.0%)

四国エリア 2026年7月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

128.8GWh

需要ピーク

16:30、489万kW

連系線・その他

35.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク241万kW、風力ピーク14万kWで、時間別の再エネ最大需要比は61.3%だった。



2026年7月28日の供給実績

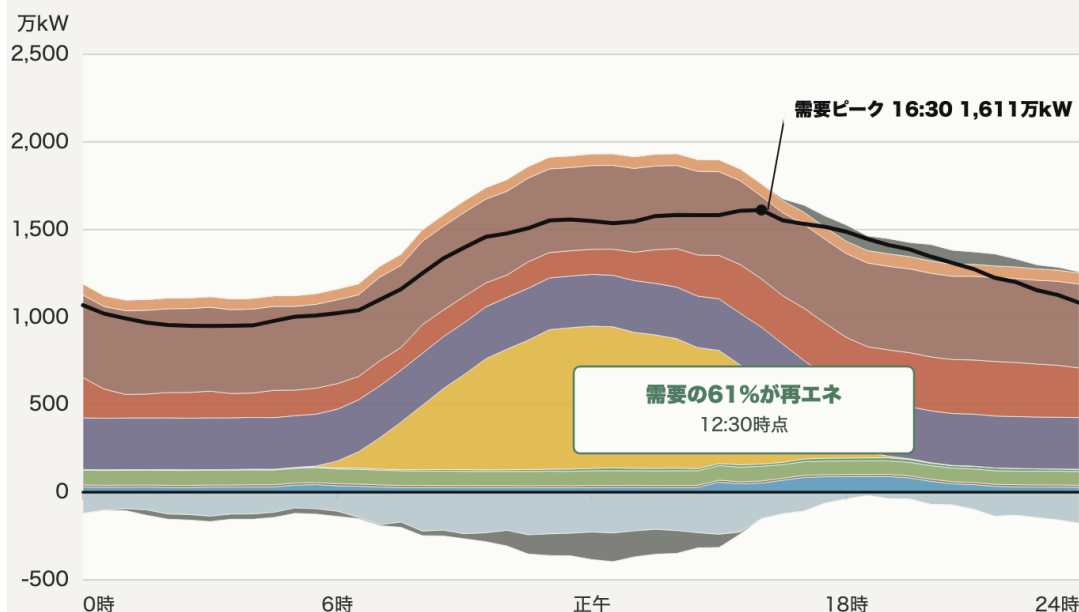
九州エリア

再エネ

99.1GWh

(発電電力量ベース27.9%)

九州エリア 2026年7月28日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 355GWh
(3,546万kWh)

再エネ	99.1GWh (27.9%)
太陽光	64.4GWh (18.2%)
水力	9.7GWh (2.7%)
風力	2.5GWh (0.7%)
バイオマス	19.6GWh (5.5%)
地熱	2.8GWh (0.8%)
LNG火力	50.0GWh (14.1%)
石炭火力	114.5GWh (32.3%)
石油等火力	15.8GWh (4.4%)
原子力	70.9GWh (20.0%)
揚水・蓄電	4.4GWh (1.2%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

354.6GWh

需要ピーク

16:30、1,611万kW

連系線・その他

35.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

9.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク812万kW、風力ピーク17万kWで、時間別の再エネ最大需要比は61.5%だった。



2026年7月28日の供給実績

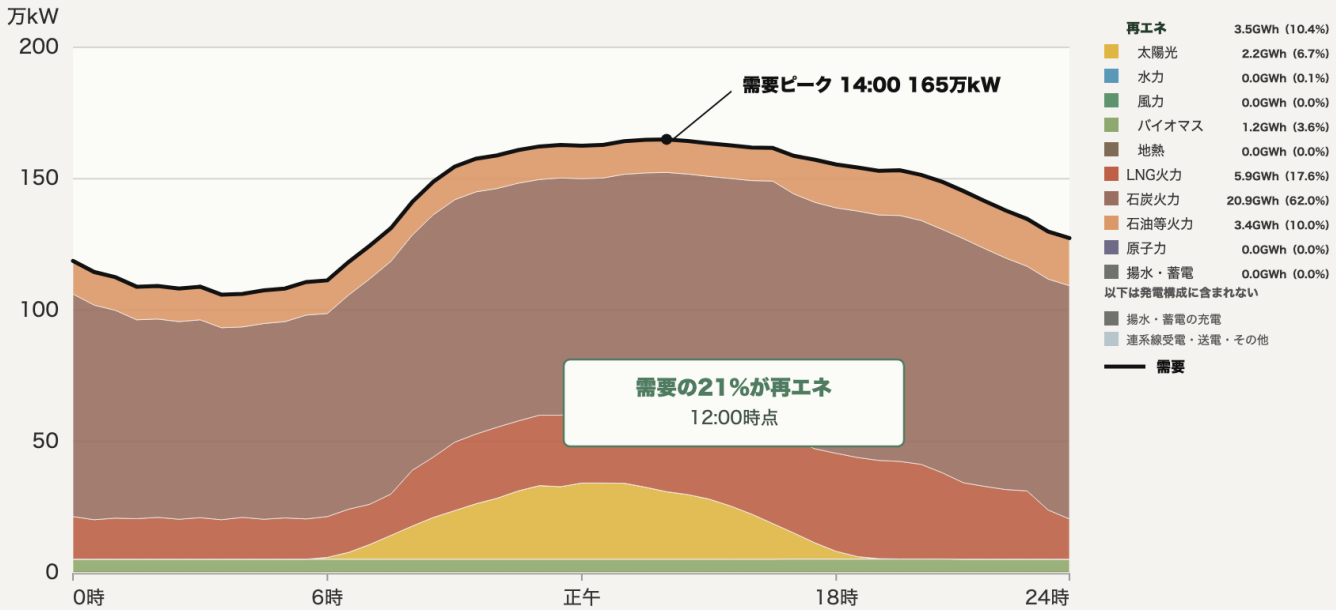
沖縄エリア

再エネ

3.5GWh

(発電電力量ベース10.4%)

沖縄エリア 2026年7月28日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

33.7GWh

需要ピーク

14:00、165万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク29万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は21.0%だった。